平成３０年度　学校関係者評価結果

１．実施日：令和元年７月９日（火）１５：５０～１７：５５
２．場　所：九州医療スポーツ専門学校　会議室
３．学校関係者評価委員（敬称略）
西原達次（公立大学法人九州歯科大学　理事長・学長）
堀　　修（福岡県立若松商業高等学校　校長）
大森弘太郎（九州医療スポーツ専門学校　同窓会会長）

基準１　　教育理念・目的・育成人材像等

評価	意見	自己評価
4	高い教育理念をかかげ教育を通じて社会に貢献する人材育成に取り組んでおり、プロフェッショナルな医療人としての基盤となる人格形成、人としてのあるべき姿を示しており、大変優れたものとして評価できる。	4

（評価は４点満点）

基準２　学校運営

評価	意見	自己評価
4	教育理念だけでなく、法人の理念も周知したうえで主体的な学校運営が出来ている。また、社内コミュニケーションツールも活用し、横の教職員との繋がりも重要視しており、組織的な体制が整っている。	3.4

基準 3　教育活動

評価	意見	自己評価
2.6	情熱をもって取り組んでいることは大いに評価できるが、学科によって抱える課題に早急な対応が望まれる。特にキャリア教育の推進にあたっては、外部による教育資産の効果的活用、成績評価にあたっては、ルーブリック評価の導入など工夫が挙げられる。 しかし、E - ランニングなどの実施は時代にあった教育活動をしていると感じた。	2.9

基準 4　学修成果

評価	意見	自己評価
2.6	多様な学科を有している中で、就職率など専門学校として極めて重要な指標において不十分なところがあり、改善が求められる。また、学科としての方向性などもあっても良いのではないかと感じた。しかし、おおむね就職率の向上や資格・免許率の向上が見受けられることは大いに評価できる。	2.7

基準 5　学生支援

評価	意見	自己評価
2.3	おおむね支援の組織体制は整っているが、学科によっては効果的コミュニケーション、面談、生徒理解が課題。また、キャリアサポートでは、就職先をデータ化していき、学生支援の判断材料になればいいと感じた。	2.9

基準 6　教育環境

評価	意見	自己評価
3	法令に適合し、安心・安全な学校における設備が整っていると判断した。学外実習・インターンシップ等については学校単位の研修はあるが、学科によっては十分行われていないように感じる。また、学科や部署によって改善が必要な部分もあると感じた。	3

基準 7　学生の募集と受け入れ

評価	意見	自己評価
3.3	保護者への学費面の説明不足があるように感じたが、規制に基づいた広報活動が積極的・効果的に行われており、過去最高の学生獲得を達成しており、入学選考においても適切に行われており、大いに評価できる。	4

基準 8　財務

評価	意見	自己評価
3	基盤は安定しているが、今後の財務改善計画の策定を基に、10 年先の財務状態をシミュレーションすることで課題を明確化して改善に努めて欲しい。	3

基準 9　法令等の遵守

評価	意見	自己評価
3.3	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営が行われている。特に『ハラスメントマニュアル』を策定して、これに基づいた運用を行っていることは大いに評価できる。また、校内のセキュリティや防犯設備も充実している。	3.9

基準 10　社会貢献

評価	意見	自己評価
4	北九州市とも連携しており、トレーナー活動や講演会なども実施している。また、国際交流、学生のみならず教職員も積極的にボランティア活動に取り組んでいることは大いに評価できる。 さらによりよくする為には、学校施設、設備等の開放については『開かれた学校』に向けて、地域等と連携をすることで工夫して欲しい。	3.3

● 総　　括

学校全体として、改善点なども明確にしており、他の部署・学科とも連携を進めている点もあるが、全体目標や卒業生の動向なども今後の学生獲得に向けて話し合いも必要だと感じた。さらに、2015 年 9 月の国連サミットにおいて、全会一致で採択された SDGS（持続可能な社会に向けた 17 の開発目標）がある。我が国も積極的に取り組むこととし、その推進指定都市に北九州が指定されているため、北九州市と連携していることは大いに評価できる。

しかし、複数の学科において基準 3（教育活動）基準 4（学修成果）における改善が必要な状況であることを認識して、より良き人材育成に努めて頂きたい。

令和元年７月２３日

九州医療スポーツ専門学校　学校関係者評価委員会